

魔法のWallet プロジェクト 活動報告書

報告者氏名：秀島伊都子 所属：佐賀県武雄市立武雄小学校 記録日：2020年2月7日
キーワード 読み書き支援 自己肯定感 コミュニケーション

【対象児の情報】

1. 学年 小学3年生
2. 障害名 注意欠損多動性障がい（ADHD）読み書き障がい（LD）傾向
3. 障害と困難の内容
 - ・学年相応の学習内容は定着しているが、音読に流暢さが欠ける。加えて、言葉の区切りがつかめず、内容理解でつまづくことがある。
 - ・周りの状況に合わせて行動することがうまくできない。提出物、宿題の忘れ物が多い。
 - ・自己肯定感が低く、些細なことで自分を責めてしまいパニックになる。（2年生の時は 頻繁に見られた。）
 - ・3年生から、通級指導教室へ通級開始。（個別指導 1時間、ペア学習 1時間）

【活動目的】

1. 当初のねらい
 - ①気持ちを表す多様な言葉を知り、自分の気持ちを相手に伝えられるようにする。
 - ②成功体験を積み上げていき、得意なことを増やす。
 - ③自分に合った読み方を獲得し、言葉の意味を正しく理解できるようにする。
2. 実施期間
2019年5月から2020年2月
3. 実施者
秀島伊都子（LD/ADHD等通級教室担当）
4. 実施者と対象児の関係
通級指導教室担当教諭と通級児童（自校 通常学級在籍児童）
個別指導週1時間 ペア学習週1時間

【活動内容と対象児の変化】

◎対象児の事前の状況

《学習面》

〈知的発達について〉

- ・2年生の時の教研式標準学力調査 I S S の数値は57で、知的な遅れはない。

〈読み書きの状況について〉

- ・URAWSS II は、書き課題 A 読み課題 B 内容理解 2問正解（6問中）であった。逐次読みをしており、言葉をかたまりとして捉えられないため、内容理解ができていないと思われる。

〈授業への参加状況〉

- ・普段の話す速さはスムーズである。音読発表は、消極的である。
- ・四則計算は早い。文章題になると何算で解くのか判断できない事がある。
- ・体を動かすことが好きで、体育は得意。市の陸上クラブに所属し、活動のある木曜日を楽しみにしている。
- ・イラストが得意。しっかりした線で絵を描き、色塗りも丁寧にできる。好きな活動の時は、自分が納得するまで、粘り強く取り組むことができる。

《生活・社会性の面》

- ・低学年時には、先生の指示を聞きもらしたり、黒板やプリントに書かれたことを見落としたりして、困っている場面を見ることがあった。
- ・2年生時のQ-Uの結果は、学級生活不満足群の中の要支援群にいた。
- ・困った状況になった時、自分の気持ちや、なぜそうしてしまったのかの理由を言葉にできず、その場を飛び出したり、不適切な行動をとったりしてしまうことが、報告されていた。
- ・保健室へ、頭が痛い、おなかが痛いなどの不調を訴え、頻繁に来室していた。保健室で少し休むと、教室に自分で帰ることができた。
- ・身辺整理や持ち物の管理は苦手。学習中に、よく筆記用具を落とす。忘れ物が多い。
- ・喜怒哀楽の表現が極端。特に、失敗した時の落ち込みが激しく、ますます泣いてしまう場面が見られた。自己肯定感がかなり低い。
- ・集中が続かず、活動に飽きてくると、目についたものを手に取ろうと離席することがあった。姿勢が崩れやすい。

◎活動の具体的内容

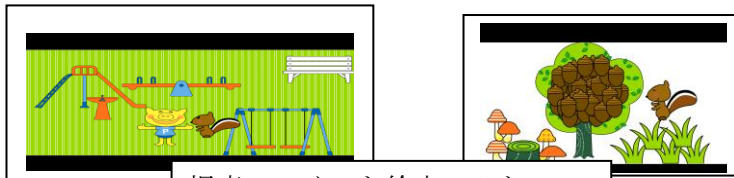
① 気持ちを表す多様な言葉を知り、自分の気持ちを相手に伝えられるようにする。

- 表情絵や場面絵を使って、気持ちを表す言葉を集めていった。
- 場面絵を使って、気持ちを表す言葉を入れて、ロールプレイで試した。
- 自分の言動と相手の言動を図に示すことで、視覚的に状況を捉えやすいので、「シンプルマインド」で、気持ちの整理・振り返りをした。また、「こち日記」も自分の気持ちを振り返ることに有効であるため使っていた。
- 「Bytalk for school」で、言葉のやり取りをしながら、自分の気持ちや状況を伝えられるように使っていた。



② 成功体験を積み上げていき、得意なことを増やしていく。

- イラストを描くのが好きであったので、絵本アプリ「ピッケの作る絵本」を使って、絵本作りをした。



児童のつくった絵本のひとコマ

- 絵本が完成した時、帰りの会の係りの発表の時に紹介してみないかと提案した。やってみたくとやる気満々だったので、学級担任にお願いし、発表の機会をつくってもらった。そこで、台本を書き、場面ごとに読む練習を開始した。練習は、通級の時間だけでは足りないので、休み時間に練習した。
- 学級での発表は、電子黒板にタブレットの画像を送って、絵本の中のアイテムを動かしながら、読み語りを頑張った。発表中に、思わず出た質問にもアドリブで答えるなど、臨機応変に対応ができていた。友達との言葉のやり取りを楽しむ様子が見られた。発表後に、友達から拍手をもらい、「すごいね。」「動かし方が面白かった。」など声をかけてもらっていた。

右手でタブレット操作、左手に台本



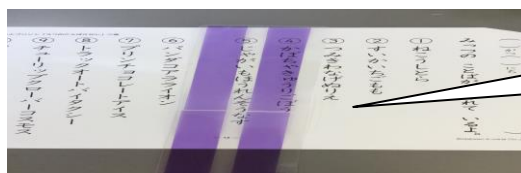
電子黒板をみながら、台本を読む



③ 自分に合った読み方を獲得し、言葉の意味を正しく理解できるようになる。

〈アナログでの支援〉

- ・文節と文節の間に目印（線の区切り）を入れて、言葉のかたまりを捉えることができるようにした。また、漢字の読みが困難なので読み仮名をふった国語の教科書を使うようにした。（読み仮名は担当が児童の教科書に直接記入）
- ・教科書の音読時に、行飛ばしや、読み変え（特に文末に多い）があるので、どこを読んでいるのかが自分でつかめるように、スリットを使った。



手作りスリット。セロハンをラミネートした。

〈デジタルでの支援〉

- 「デージー5」で、音声読み上げを使って教科書音読を支援。読んでいるところが色でわかる場所、言葉のかたまりが耳でつかめる場所、自分の読みや

すい速さにカスタマイズできるところが気に入って、家庭でも音読の宿題が出たときは使用していた。

○「辞書アプリ」で、意味がわからない言葉は、辞書アプリを使って調べさせた。



【対象児の事後の変化】

① 気持ちを表す多様な言葉を知り、自分の気持ちを相手に伝えられるようにする。

◎気持ちを表す言葉については、表情絵・場面絵を見て、こんな気持ちであろうという言葉、彼女なりに出せるようになってきた。また、困ったことやトラブルが起こった時は、「シンプルマインド」でその時の状況を視覚化していったことで、落ち着いて振り返りができるようになった。

◎パニックになって泣く・かたまるという場面は少なくなり、自分の気持ちを言葉で出せるようになった。

◎「Bytalk for school」でやり取りをしていくなかで、始めはスタンプでの気持ちの表現が多かったが言葉による気持ちの表現が少しずつ増えてきた。

② 成功体験を積み上げていき、得意なことを増やしていく。

◎アプリ「ピッケのつくる絵本」は、失敗なくクオリティの高い作品が作れる。納得のいくものが作れ、それを学級みんなに発表して称賛され、自分もやればできる！という気持ちを持たせることができた。

◎認められているという安心感が増したせいか、発表を積極的にするようになったという報告を学級担任から受けている。

③自分に合った読み方を獲得し、言葉の意味を正しく理解できるようになる。

◎スリットを使うことで、どこを読んでいるかに集中できるので、飛ばし読みが無くなった。ルビをふり、言葉のかたまり（文節）で線を入れたことで、逐次読みから、言葉のかたまりを意識した読みに変化していることを、学級担任から聞いている。

◎「デイジー5」を使って練習（初読からデイジー5使用）した『ありの行列』（国語教科書 光村図書）を、教科書を使って音読をさせてみたところ、デイジー範読が約4分で全文音読終了するのに対して、対象児は約3分半のタイムで全文音読終了することができていた。

【報告者の気付きとエビデンス】

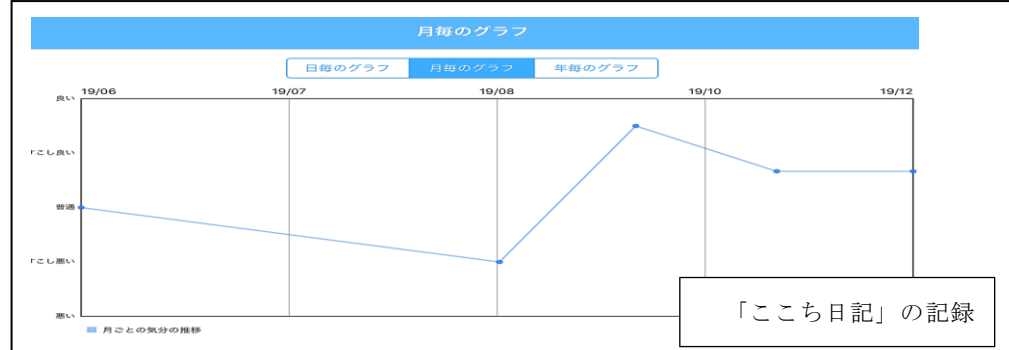
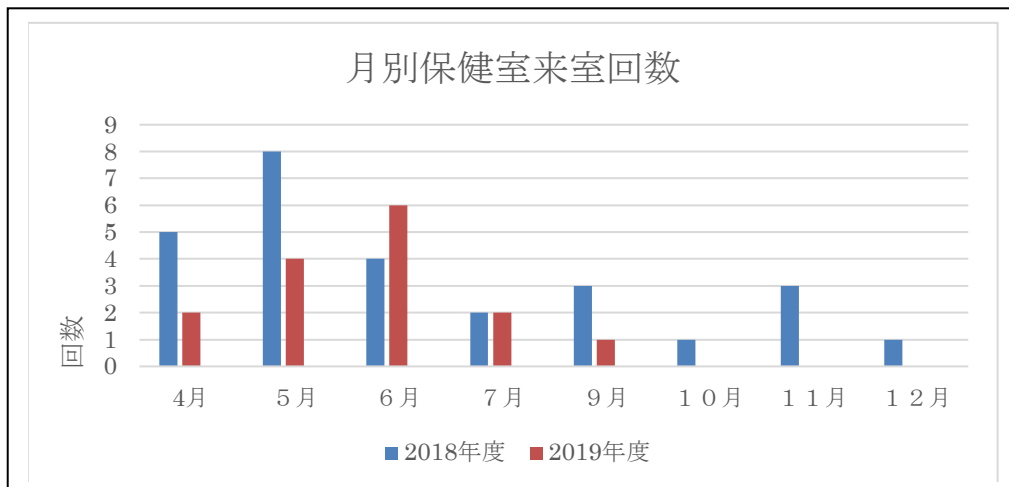
○主観的気づき

◎気持ちを言葉にして相手に伝えたり、言葉や図に整理して振り返ったりすることで、心の安定が保てるようになってきた。

◎成功体験を持つことで、自己肯定感が持ててきた。

◎自分に合った読みのツールを持つことで、避けてきた音読を進んでできるようになってきた。

○エビデンス



○昨年度と今年度の保健室への来室回数をみると、(昨年度はパニックになると保健室へ引き籠っていた) 今年の10月以降の来室回数は0である。また、今年の来室理由は、気持ちを落ち着かせるためではなく、怪我や発熱であった。困ったことがあった時は、周りに言葉で伝えるとわかってもらえる、言葉に出したら楽になる体験をしていくことでパニックになっても短時間で立ち直り、自分の気持ちを切り替えることができた。「ここち日記」の心の状態も連動して安定している。

○絵本作りで友だちから認められたことで自信を持ち、第二作目を作成した。イラストページだけを一緒に作って、{登場人物の表情に合わせて吹き出しを書いてくる}という課題を出していたら、自主的に三作目も併せて作ってきていた。みんなに発表しようと意欲満々である。

○音読練習が始まると 2, 3行あたりで固まって黙ってしまっていたが、音声読み上げアプリで自分に合った速さを調節しながら、長文でも嫌がらずに音読している。言葉のかたまりが掴めることで、読んでいる文章を理解できてきた。URAWSSIIを1月前半にとったところ、読み課題の内容理解を、代読介入で、全問正解できた。